

ワークショップ参加者募集

ヘドロ・廃材・しゃしんでつくる、わたしの中川運河



中川運河の泥を採取し、歴史や環境について学んだあと、漆喰に混ぜて作品の土台を制作します。続いて、運河を散策しながら池谷氏と一緒に携帯電話のカメラを使って写真を撮影。翌日は地域企業・近藤印刷でUVインクジェットプリントの現場を見学し、撮影した写真が実際に印刷される工程を体験します。完成した作品は展覧会にて展示されます。この場でしかできない創作体験ワークショップです。

5 月 10 日【土】 & 11 日【日】

日 時

1日目：5月10日（土）中川運河撮影ワークショップ

①10:00-12:00 or ②14:00-16:00

2日目：5月11日（日）近藤印刷UVプリント見学会

①10:00-11:00 or ②11:30-12:30

対象者

小学生・中学生（2日とも参加できる方を優先）

参加費

無料（製作した作品は展示期間終了後、5,000円で購入して持ち帰ることができます。）

定 員

各回10名（先着順、要事前申込み）

会 場

PALET.NUに集合し、中川運河周辺へ

申 込

QRコードから必要事項を明記の上、申込してください

講師

Tomohide Ikeya

池谷友秀

写真家

1974年生まれ。

スキューバダイビングを趣味とし、水中という非日常的な環境からインスピレーションを得ている。

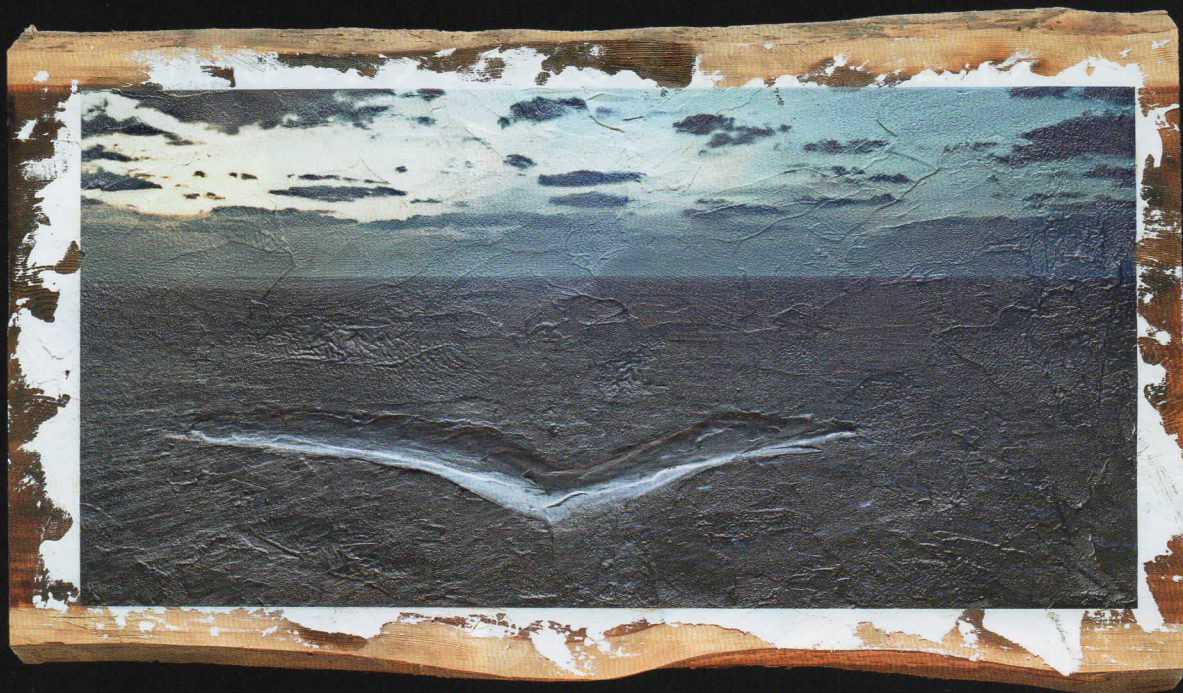
生命を育むと同時に命を奪う水の二面性に焦点を当てており、その哲学的な側面を探索している。また、幼少期に影響を受けたアニメ、西洋絵画、ダンスなど、多様な芸術表現を融合し、独自の視覚世界を構築。デジタル技術や漆喰など、多様なメディアを駆使し、伝統と現代をつなぐ作品を発表し続けている。

SCAN



O
C
E
A
N
×
中
川
運
河

写真展 まちは水にねむり 声をまつ



2025/5/23 日 - 6/1 日

作家／池谷 友秀＋ワークショップ参加者

世界の海を見つめてきた写真家・池谷友秀が、
中川運河の記憶と対話する写真展。

「OCEAN」シリーズが探る人と自然の目に見えない関係性は、かつて産業の水路として時を刻んだ中川運河の静かな風景と呼応します。

運河の河底から採取した泥や、眠っていた建築廃材に、地域企業・近藤印刷の技術が重なり、新たなかたちへと生まれ変わります。池谷氏の作品とともに、子どもたちが運河を歩き、撮影した写真も展示されます。過去と現在が折り重なるように、静かにゆっくりと、新たな中川運河の姿が立ち上がります。

PALET.NU

営業時間：10:00-17:00

定休日：(第1・第3火曜日 水・木曜日定休)

管理・運営：公益財団法人名古屋まちづくり公社

tel/080-5867-9048

e-mail / kikaku-jimu@nup.or.jp

address/名古屋市中川区広川町5丁目地先

<https://www.paletnu.org>

